

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2006-510676(P2006-510676A)

【公表日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報 2006-013

【出願番号】特願 2004-559435(P2004-559435)

【国際特許分類】

C 07 D 333/38 (2006.01)

A 61 K 31/381 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 19/00 (2006.01)

A 61 P 19/10 (2006.01)

A 61 P 19/04 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 17/16 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 37/06 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/08 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 31/18 (2006.01)

A 61 P 31/12 (2006.01)

A 61 P 9/14 (2006.01)

【F I】

C 07 D 333/38 C S P

A 61 K 31/381

A 61 P 29/00

A 61 P 43/00 1 0 5

A 61 P 19/02

A 61 P 29/00 1 0 1

A 61 P 1/04

A 61 P 11/06

A 61 P 11/00

A 61 P 19/00

A 61 P 19/10

A 61 P 19/04

A 61 P 17/06

A 6 1 P 37/08
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/16
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 9/10 1 0 1
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 31/18
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 9/14
A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月28日(2007.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

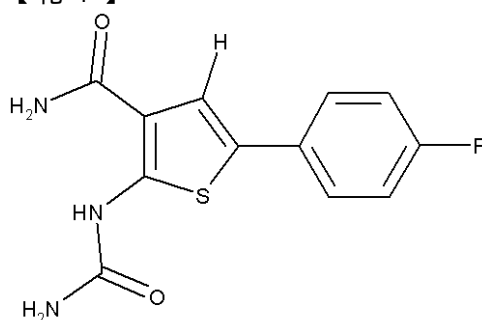
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造式：

【化1】



を有する5-(4-フルオロ-フェニル)-2-ウレイド-チオフェン-3-カルボン酸アミド。

【請求項2】

請求項1に記載の化合物と、医薬上許容される担体とを含む、病的NF-κB活性化を阻害するための医薬組成物。

【請求項3】

病的NF-κB活性化により特徴付けられる疾患が炎症または組織修復障害である請求項2記載の組成物。

【請求項4】

疾患が、炎症および組織修復障害、特に関節リウマチ、炎症性腸管疾患、喘息およびCOPD(慢性閉塞性肺疾患)、骨関節炎、骨粗鬆症および線維症、乾癬、アトピー性皮膚炎および紫外線照射(UV)誘発の皮膚損傷を含む皮膚病、全身性紅斑性狼瘡、多発性硬

化症、乾癬性関節炎、強直性脊椎炎を含む自己免疫疾患、組織および器官拒絶反応、アルツハイマー病、発作、アテローム性動脈硬化症、再狭窄、糖尿病、糸球体腎炎、ホジキン病を含む癌、カヘキシー、感染および後天性免疫不全症候群（A I D S）を含むある種のウイルス感染に伴う炎症、成人呼吸窮迫症候群および毛細血管拡張失調症からなる群から選択される請求項 3 記載の組成物。

【請求項 5】

前記疾患が皮膚病である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 6】

疾患が、乾癬、アトピー性皮膚炎、および U V により誘発される皮膚損傷からなる群から選択される請求項 3 記載の組成物。

【請求項 7】

疾患が、自己免疫疾患；組織および器官拒絶反応、アルツハイマー病、発作、アテローム性動脈硬化症、再狭窄、糖尿病、糸球体腎炎、骨関節炎、骨粗鬆症、および毛細血管拡張失調症からなる群から選択される請求項 3 記載の組成物。

【請求項 8】

前記疾患が自己免疫疾患である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 9】

自己免疫疾患が全身性紅斑性狼瘡、多発性硬化症、乾癬性関節炎、または強直性脊椎炎、糖尿病である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 10】

疾患が癌および / またはカヘキシーである請求項 3 記載の組成物。

【請求項 11】

癌がホジキン病である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 12】

疾患が感染および後天性免疫不全症候群（A I D S）を含むある種のウイルス感染症に付随する炎症である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 13】

疾患が A I D S である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 14】

疾患が成人呼吸窮迫症候群である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 15】

前記疾患が C O P D である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 16】

前記疾患が喘息である請求項 3 記載の組成物。

【請求項 17】

前記疾患が関節リウマチである請求項 3 記載の組成物。

【請求項 18】

N F - κ B およびチェックポイントキナーゼの二重阻害を示す請求項 3 記載の組成物。